



デザイン/ナガイマサミ

☆使用材料

ハマナカティノ (25g 玉巻)

使用色	使用量
白 (No.1)	1g
淡ピンク (No.4)	0.5g

ハマナカアクレヌ (15g バック)

使用色	使用量
ピンク (H440-001-102)	35cm

ソリッドアイ 6mm 黒 (H221-306-1) 2個

フェルト ピンク 3×3.5cm、濃ピンク 2.5×2.5cm



H204-570
くるくるポポン
ミニセット

☆用意するもの

くるくるポポンミニセット (H204-570)、毛糸と針 (H250-706)、クラフトハサミ (H420-001)、手芸用クラフトボンド (H464-003)。

- 下準備
- アクレヌは指定量に取り分けておきます。さき方は、別紙「アクレヌポポンの基礎」を参照。
 - ポポンの基本的な作り方は、くるくるポポン同梱の「ポポンの作り方」を参照。
 - 結び糸は、ティノ (白) 2本どりで50cm程度用意します。

- 作り方
- 【1】ポポン器 (5.5cm) に、ティノとアクレヌを指定回数巻き、顔のポポンを作ります。
 - 【2】耳と目を顔につけて仕上げます。

実物大写真



アクレヌ取り分け図



作り方

ポポンの作り方 <顔>

- 1 淡ピンク 2本どり 8回
 - 2 少なめに巻く 多めに巻く
白 2本どり 120回
- ポポン器 (5.5cm) の片側に、淡ピンクを2本どりで8回巻きます。
- 【1】の上に、白を2本どりで120回巻きます。

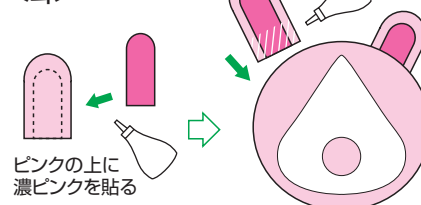
- 3 アクレヌピンク 1/8を3本
 - 4 反対側 アクレヌピンク 1/8を4本
- 別紙参照 アクレヌポポン基本の作り方
- 【2】の上に、下準備で分けたピンク3本を、全体が均一の半円になるように巻きます。
- 反対側は、ピンク4本を全体が均一の半円になるように巻きます。

ポポンの仕上げ方

- 1 両側を巻き終わったら、ストッパーで固定し、ハサミでカットします。
- 2 結び糸50cmを用意し、結びます。ポポン器を外します。
- 3 実物大写真を参考にしながら、丸くカットして整えます。

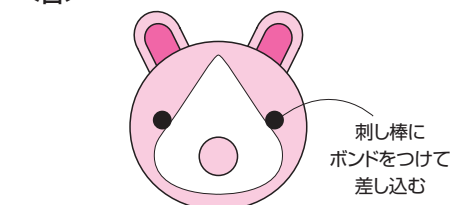
パーツのつけ方

<耳>



フェルト (ピンク・濃ピンク) で耳を作り、頭に差し込み、ボンドで固定します。

<目>



目の位置にソリッドアイ6mmを差し込み、ボンドで固定します。

アクレヌボンボンとは？

ハマナカ独自の高品質アクリル繊維アクレヌで作るボンボンです。カットがしやすく、コロッとしたふわふわのボンボンが作れます。ニードルを使用すれば、幅広い作品作りが楽しめます。

- Point 1 太いふさを使うので早く巻けます
- Point 2 アクレヌならではの触り心地と膨らみ感のある仕上がりが
- Point 3 ニードルで刺し固めやすささまざまなアレンジができます

くるくるボンボンでつくるボンボン

おすすめの素材と使用量目安一覧表

※長さは目安です。
巻き加減と素材や色によって多少の誤差が発生します。ご了承ください。

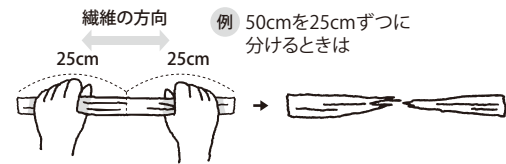
おすすめの材料	くるくるボンボンの種類	直径3.5cm (グリーン)	直径5.5cm (ピンク)	直径7cm (ブルー)	直径9cm (オレンジ)
アクレヌ® 15gあたり=約75cm	1パック 15g入	約10cm	約35cm	約50cm	約100cm
フェルト羊毛 ソリッド 10gあたり=約50cm	1パック 50g入	約15cm	約50cm	約60cm	約120cm
フェルト羊毛 ナチュラルブレンド 10gあたり=約50cm	1パック 40g入	約15cm	約50cm	約80cm	約150cm

- 上記以外に必要なもの
- はさみ
 - 定規またはメジャー
 - 糸
- ※先の尖った良く切れるはさみをご使用ください。
※糸はレース糸(20番手)または太めでしっかりしたものがおすすめです。
- ニードルを使う場合
- フェルティング用ニードル
 - フェルティング用マット
- ※作品ごとに必要な副資材等は作品のテキストをご覧ください。

アクレヌの取り分け方

分け方 繊維を分断して取り分けるとき

図のように分ける位置を中心として、ゆっくり引き抜くように分けます。



さき方 繊維の方向にそって取り分けるとき

図のように分け目にしたいところに指を差し込み、繊維の方向にそってさきます。

例 1/2にさくときは



キットの場合 正確な量に取り分けるため、下記の方法で分けます。

- 繊維を分断して取り分けるとき → ハサミ
- 繊維の方向に沿って取り分けるとき → 手

※切り口は繊維を指でつまんで出しほぐしてください。

フェルティングニードルをご使用の場合

(※キットにはニードルを使用しないものもございます)

フェルティングニードルの使用上のご注意

フェルティングニードルは先端の鋭い専用針です。使用上のご注意を必ずお読みください。

- 一度曲がったニードルは大変折れやすくなっています。無理に使用しないでください。
- 無理な力を加えると先端が折れる場合があります。針先をひねらないように作業をしてください。また、折れた場合の飛散防止になりますので、フェルティング用マットは必ず使用してください。
- ニードルの先端は大変鋭く、作業中は手をきちんと安定させ気を散らさないよう集中してください。くれぐれも手などを刺さないように充分に気をつけて作業してください。
- 指の保護の為、別売の「フェルティングニードル専用指サック」のご使用をお勧めします。

⚠ ニードルは先端の鋭い専用針です。
お子様が作業される場合は、保護者の方が必ずそばに付き添ってください。

- 使用後は、キャップを付け、お子様の手の届かないところに保管してください。
- フェルティング以外の用途には絶対使用しないでください。針先は人に向けたりせず常に作業物に向けてください。
- ニードルで作った作品は繊細ですので取り扱いには注意しましょう。また、小さなお子様は誤飲の恐れなどがありますので、特にご注意ください。

作業中に作品の中で先端が折れた場合、そのままにしておくと大変危険です。必ず取り出してからご使用ください。

- 衛生上、ニードルの使い回しはお避けください。

アクレヌボンボン 基本の作り方

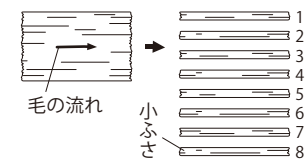
基本の手順

- 下準備 → STEP 1 アクレヌを巻きます → STEP 2 カットします → STEP 3 結びます → STEP 4 形を整えます

下準備

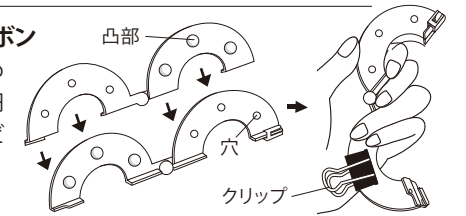
●アクレヌ

必要量のアクレヌを取り分け、1ふさを8等分にさきます。この1/8ふさ(以下「小ふさ」)をくるくるボンボンに巻きつけるときの基本の太さとしします。



●くるくるボンボン

凸部と穴を合わせ、片方の半円をクリップなどで固定します。

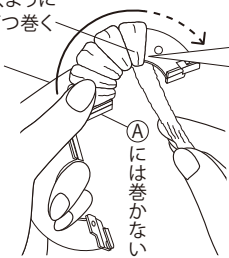
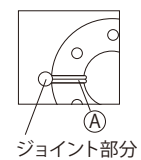


STEP 1 アクレヌを巻きます。

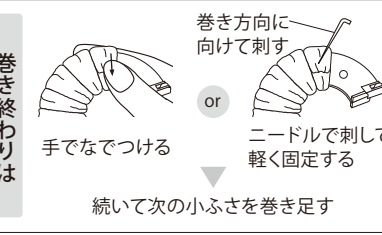
①半円の端からアクレヌを巻きます。半円が巻けたらもう片方の半円も同様にします。

隣につめていくように小ふさを1本ずつ巻く

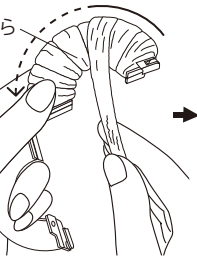
ジョイント部分は持たない



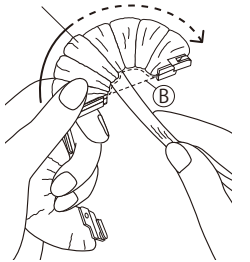
巻き終わりは



端まで巻いたら上に巻き重ねていく

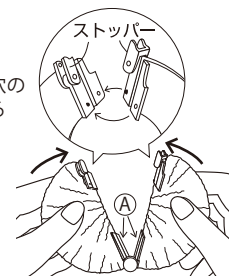


点線Bが埋まるまでが目安



②ボンボン器を円形になるようストッパーで固定します。

ストッパーを図のように上に持ち上げ穴の位置を合わせる



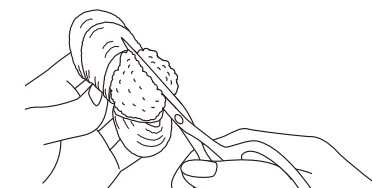
ストッパー(2箇所)を下げて固定する



Aにアクレヌが入らないよう注意

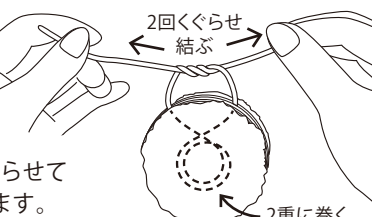
STEP 2 カットします。

ストッパー部分からボンボン器2枚の間にはさみを入れ、アクレヌをカットします。



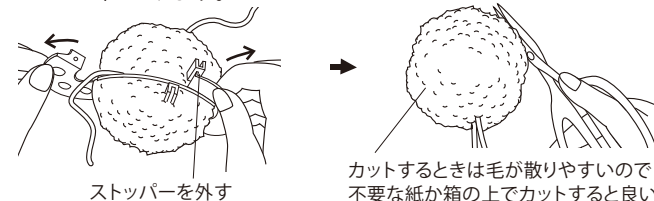
STEP 3 結びます。

ボンボン器2枚の間に糸を2重に巻き引きしめします。中心までしっかり糸を入れ、糸端を2回くぐらせて結びます。さらに1回結びます。



STEP 4 形を整えます。

ボンボン器を外して、手で軽く整え全体をカットし仕上げます。



■きれいに巻くコツ しっかり巻き、均一な厚みに

- しっかり巻き始めます。
巻き始めが緩いと、全体が緩みやすくなります。
- 端まできっちり詰めて巻きます。
端まで詰めて巻くことで、仕上がり時の毛の密度が揃います。
- 端まで巻き終わったら、上に巻き重ねていきます。
できるだけ全体が均一な厚みになるよう巻きましょう(※色替えなどで特に厚みに指定がある場合は除く)。小ふさの本数が残り少なくなってきたら、ふさを薄く広げるなど、厚みのバランスを見ながら巻きます。

巻きすぎると、ストッパーがはまりにくく、器具を傷める場合がありますので、ご注意ください
※巻ききれない場合は、無理に巻かず余らせてよい

■色分けのコツ 色の境目をきれいに

- 色ごとに巻きます。
色ごとにしっかり巻きつけます。色の境目が混ざりそうなときは、違う色を巻く前に刺し整えておくとよい
- 2色以上のときは、巻き面積が小さい色から巻きます。(作品によって例外もある)

■きれいに整えるコツ 少しずつ丁寧に

- 丸く仕上げるときは
全体を軽く手で丸めたあと、少しずつカットします。
- ニードルで整えるコツ
(完成した丸のボンボンからニードルで形を作るとき)
- バランスを見ながらやさしく刺す
一度に強く刺すと、すぐにくぼんでしまうので、作りたい形になるよう徐々に刺し整えます。